

セッション2 「災害対応力を強化する女性の視点」 ワークシート

【<初動段階>災害対策本部における体制確保】

あなたは、ある市の「防災課長」です。3か月前に着任しました。

いざ、災害が起きたら、被災者の立場に立った対応を行いたい。繰り返し起こる問題を防ぐためには、男女共同参画の視点を組み込んだ対応が不可欠！と考えています。そんなある平日の午後、マグニチュード7.3 の大規模地震が発生しました。

状況	対応メモ
<ul style="list-style-type: none"> ● 組織が一丸となって災害対応にあたる中、あなたはいくつかの課題に気づきました ・ 地域防災計画には、男女共同参画や女性被災者への配慮について書かれていない ・ 男女共同参画や女性の問題について相談しようとしても、男女共同参画担当は市民対応をしている ・ TV や新聞では女性避難者の問題が報道されているが、本部にはそのような情報は上がってこない 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 被災者への支援を強化するために、本部の下部組織として避難所支援チームを立ち上げましたが、またいくつかの課題に気づきました ・ 編成した避難所支援チームのメンバーの中に、女性職員が少ない ・ 派遣されてくる避難所運営職員のほとんどが男性 ・ 男女共同参画センターと連携できていない 	

【<避難生活段階>避難所の運営】

あなたは、避難所に派遣されることになりました。

上司からは「避難所には様々な人達がやってくる。一人ひとりの要望に配慮して対応せよ」との指示がありました。

災害発生から1週間。避難生活の長期化が見込まれます。

状況	対応メモ
<ul style="list-style-type: none"> ● 住民が主体となった運営が始められたが、避難者はずいぶん和我慢しているよう… ・ 仮設トイレが男女別になっていない。体育館(居室)からトイレは離れていて、照明もなく夜は真っ暗。和式トイレばかりで、子どもや高齢者には使いづらい… ・ プライバシーを守れる「間仕切り」がない。夜、安心して眠れない ・ 男女別の更衣室も授乳部屋もない。安心して、着替えも授乳もできない… ・ 物資担当者が男性なので、下着や生理用品などが受け取りづらい… ・ 避難所運営組織の役員は男性ばかりで、要望が伝えづらい… 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 男女共同参画センターから、これまでの災害では避難所で女性や子供への暴力が多数発生しているとの情報が入りました ・ 夜になると男の人が、毛布の中に入ってくる。それを相談した周りの女性は「若いから仕方ないね」と見て見ぬふり。助けてくれない ・ 避難所で(成人男性から)キスしてと言われた。トイレまでついてくる。着替えをのぞかれる ・ 授乳しているのを男性にじっと見られる ・ 震災前から DV 被害にあっていた女性が、震災のときに夫とは違う避難所に逃げた。しかし、夫が探しに来て、見つかってしまった 	

【<復旧・復興段階>生活再建のための生業や就労回復】

あなたは、復興対策本部の担当者です。

被災した住民たちは、失ってしまった住宅、仕事・収入、心身の健康、つながり、そしてまちを取り戻していかなければならない。行政として、誰一人取り残されないよう関わっていく必要があると考えています。

地震発生から、2か月。罹災証明書の交付が開始され、被災者の生活再建支援や応急仮設住宅の建設・入居が進められています。

状況	対応メモ
<ul style="list-style-type: none"> ● 女性は非正規雇用で働く場合が多く、解雇の対象となりやすい。 ● しかも、一度離職すると、育児・介護と仕事との両立が一段と難しい… ・ パートをしていたが、震災で経営が悪化して、辞めさせられた ・ 子供の預け場所がない。女性が働くためには子供の預け場所の確保が必要 ・ がれき処理などの肉体労働の求人はたくさんあるが、中年で体が弱く、技術もない私にできる仕事はみづかりにくい ・ 母子家庭で、事務職の仕事をしていた。震災後は事務職の仕事がなくなった。平日で夕方までの仕事は見つからない 	